

令和3年度第2回外国人介護人材受入れに係る検討会 開催概要

- 開催日：令和4年3月24日（木）10：00～12：00
- 会場：ホテルルビノ京都堀川「ひえいの間」
- 出席委員：新井委員、河合委員、中井委員、上野委員、溝口委員、楢田委員、小林委員
萩野委員、山田委員、岡本委員
- 事務局：地域福祉推進課 神田課長、一色参事、井谷課長補佐、伊勢田主任
- 傍聴：3名
- 内容・議事録

1 開会

事務局より開会の宣言及び出欠状況の報告。

2 議題

(1) 令和3年度京都府外国人介護人材支援センターの取組みについて

○事務局

- ・相談支援業務及び研修会等の実績を報告
- ・監理団体向けアンケート調査の集計結果を報告

○委員

今回は求職者やすでに事業所で働いている方等10名の参加があり、入門講座にニーズがあることがわかった。

監理団体向けアンケートについて、対象とした28団体中10団体から回答があったが、回答のない監理団体の姿勢に不安を感じる。回答結果からは受入れに要する費用だけでなく、支援内容の違いも把握でき有意義であった。

(2) 京都府内市町村における外国人介護人材の受入れに係る取組みについて

○事務局

- ・外国人介護人材の府内在留状況を報告
- ・京都府内市町村における外国人介護人材の受入れに係る取組を報告

○委員

外国人材の家賃等を補助する市もあるが、取組み状況は市町村によって差がある。

今後は府に求める支援、市町村に求める支援、また各法人で担っていく部分を整理し、協力して外国人材を受入れる体制を検討する必要があるのではないか。

また、増加傾向にある特定技能の外国人材を対象とした取り組みも必要ではないか。

(3) 外国人介護人材の受入に係る意見について（説明：団体選出委員）

○各団体選出委員

- ・各団体における外国人介護人材の受入状況、支援策等を報告

○委員

社会福祉法人経営者協議会では、技能実習に係る監理団体を安心して選定できるよう都道府県社協に監理団体を担っていただくよう要望している。

○委員

外国人介護人材センターで実施した監理団体向けアンケートの活用を含め、受入れ側にとってどのような情報があれば安心して監理団体を選定できるのか検討していく必要があるのではないか。

○事務局

先行して監理団体に取り組んだ兵庫県の情報や近隣府県の状況等も調査していきたい。

○委員

30年後、40年後の介護・福祉現場では従事者の確保が難しく現在のサービスは維持できないと言われており、外国人材の受入は重要な課題であると考え、ドイツでは外国人材の受入にあたりドイツ語教育及び習熟後の雇用について月収30万円を保障していると仄聞している。これまでのように外国人材が日本での実習や就労を選択しない状況となることを危惧しており、国による手厚いサポートが問われている。

特定技能の受入れにあたっては必ずしも登録支援機関を介する必要は無いが実態はどうか。

また、留学生や他業界の技能実習生が特定技能として参入するにあたり生じている問題はあるか。

○事務局

特定技能は受入れ手続きだけでなく受入れ後の事務処理についても煩雑で登録支援機関のサポートがなければ事業所の負担は大きい。

また、留学生については、これまで観光業や宿泊業に就職するケースが多かったが、近年の受入れ制度の拡充に伴い介護分野も選択肢の一つとなっているところ。留学生からは支援者を伴った相談が多く、留学生への制度周知等も課題であると感じている。

○委員

技能実習から特定技能への切替えについて、給与面でのトラブルはないか。実際に日本人並の給与となっているのか。

○委員

技能実習生の給与については監理団体と話し合いながら設定している。外国人同士でSNS等を活用して各事業所の待遇が共有されていることもあり、引き続き在留資格を特定技能として就労いただくために処遇の見直しをすることもあつたのではないかと。

(4) 令和4年度京都府外国人介護人材関係事業について

○事務局

- ・令和4年度京都府外国人介護人材関係事業の概要を報告
- ・令和4年度京都府外国人介護人材支援センター事業について報告

協議事項なし

3 その他

協議事項なし